

親 師 会 報

第 141 号

発行
新潟県立新津高等学校
親 師 会
☎0250(22)1920

会 長 挨拶

親師会長 川 上 洋



11月の親師会主催で行われた、3年生保護者向けの大学入試直前説明会、1、2年生の保護者会向け懇談会に多くの参加頂きありがとうございました。特に3年生向けでは会場内の椅子と同数の180名程参加予定を頂いて、当日は出席者が超えても対応できるようにゴザまで準備していました。椅子の整列や駐車場の整理を、お手伝い頂きました親師会役員や先生方、ありがとうございました。

いよいよ受験シーズンですが、最近今年より来年度の受験変更が話題になっています。私が知り得る範囲での改正の目的は、グローバル社会に対応すべく、より実践的な英語力の充実と、従来の授業を聞くことが多かった受け身型より、自分で探求するなど、もっと能動的な人材を育成することと認識しています。

その目的達成の手段として、民間英語試験の延期と記述式導入の是非が影響されるのかわかりませんが、8月に行われた高校PTA全国大会の記念講演・講師日本電産会長・永守重信さんは講演冒頭より今の教育について辛辣な言葉を使いながら話していました。講師は自身で会社を起業し世界的な企業に成長させ、今は大学の運営法人の理事長にも就任なされている方です。永守さんが言うには、今の入学制度は、塾等で解答の訓練を沢山受ければ、頭の良いは関係なく、合格できるようになっていると憂っていました。大学を卒業しても会社内で使えない英語能力者もいるので、講師運営の大学では使える英語や会計簿記など実践力を重視しているので、ぜひ受験してみてくださいとの話で、終演になりました。新入社員を受け入れる会社経営者として、即戦力となる人材を欲しているのは当然なのかと感じました。

改正の細部で賛否の意見はあるようですが、大筋として今大学は実社会を意識した研究内容や入試推薦枠などになってきています。それに対応すべく高校生活の中で保護者も含め、より心持の変化が必要な時代になってきたと感じています。

令和の時代を迎えて

学校長 渡 辺 剛



保護者の皆様には日頃から本校の教育活動におきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。12月の声とともに、いよいよ受験目前という時期になりました。

この度、大学入学共通テストにおける英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」につきましては報道等でご存知かと思いますが、令和6年度まで延期すると文部科学省から発表がありました。本校では、それに伴う関係書類について、既に集めておりましたが、お子さんを通じてお返しすることとしております。お手数をおかけしますが、よろしく願います。

また、先日開催いたしました親師会主催の3学年対象の大学入試直前説明会及び1、2年対象の学年別懇談会は、いずれの学年におきましても保護者の皆様から多数のご参加をいただきましたことを心より御礼申し上げます。

さて、ご家庭でお子さんは、今取り組んでいることに対して全力で集中することができますでしょうか。勉強していても、他にあれもこれもやらなくてはいけないというように、今取り組んでいることとは違うことが気になって集中できなくなり、目の前の課題をしっかりと理解できず漫然と勉強をしまっているというような場面はないでしょうか。

人間というのは、一瞬一瞬では一つのことしか理解できません。勉強で言えば、一つずつしか頭に入りません。ですから、今取り組んでいることに集中して一つずつ理解し、自分のものとして使えるようにすることが重要です。

残念ながら学びの道というのは一朝一夕に手にすることはできません。また、いま苦勞して身につけたものだからこそ後に役に立つのです。

これからセンター試験、国公立大の二次試験、私大の一般入試等、3年生にとっては大切な時期となります。1、2年生もいずれこの時期を迎えることとなりますが、ご家庭でもお子さんの心身の健康に十分ご配慮いただき、良きアドバイザーとして支えていただきたくお願いいたします。

文化講演会

講師：NST 新潟総合テレビ アナウンサー 井上 綾夏 様

演題：「夢が見つかる瞬間」

11月11日（月）、親師会・秋陵会共催による文化講演会が、講師に本校卒業生の井上綾夏さんを迎えて、本校第一体育館で開催されました。高校時代の思い出や、大学進学後、就職活動等を通じて「夢を持つこと」の大切さについてお話を頂きました。生徒（各学年1名ずつ）の感想を紹介します。

「アナウンサーを目指し始めた時期が周りの人よりも遅かったにもかかわらず、現在アナウンサーとして活躍できているのは、井上綾夏さんの行動力に起因していると思いました。この講演を聴いて、困難に直面したとき、ただ立ち止まっているのではなく、自分で行動を起こすことが大切だと思いました。ときには周りの人を頼ったり、自分で解決策を見つけるためにも、様々な経験を積んでいきたいと思います。」（3年）

「夢とは、全ての経験が組み重なって作られるものであって美しいと思いました。井上さんの話を聞いていて、苦しいこともいつか必ず良いことになると知り、自信ができました。まるで、自分のことを励ましてくれているような温かさを感じました。」（2年）

「私には夢がある。そして、その実現のために、今はまず希望する大学に入れるように勉強を頑張っている。そんな中、井上さんの講演をお聞きして、何のタイミングで「夢が変わる瞬間」が来るのかわからない、だから、よりいっそう「今」を楽しみ大事にしたい、と思うようになった。また、「友だちのたった一言で自分の人生が決まった」という言葉に、私は一言の重さを感じ、同時に、多くの人とコミュニケーションをする大切さを学んだ。「今」を大事にするためにも、高校時代にいろいろな人と関わりをもちたい。そして、将来は井上さんのように自分の職業に誇りの持てるような人生を歩みたい。」（1年）



生徒指導について

生徒指導部 中屋 廣昭

今年度、基本的な生活習慣の確立（挨拶、服装、時間厳守）・ルールを守る（他人に迷惑をかけない、登下校時のマナー、交通マナー）ことを念頭に置きスタートしました。現在まで、大きな問題行動も無く生徒は学校生活を送っておりますが、まだ遅刻をしてくる者、第一ボタンを外している者がいます。これからも根気強く指導してまいります。

以前、本県で高校生のいじめによる自殺があり、大きな社会問題となっています。その対策の強化として本校でも、いじめ対策推進教員を配置し、各学期ごとにアンケートをとったり、担任による面談、そして早期に発見し、早期に対処していくために教職員対象の研修会を開催するなど、未然防止に取り組んでいます。それに関連していくのがSNSの使い方です。書き込んだ文章や画像、動画などはすぐに不特定多数の人に閲覧されますし、今ネットいじめも大きな問題となっています。これらのことは非常に指導が難しく本人のモラルに任せるしかありません。SNSの使用については、ご家庭でよく話し合ってください、使用方法を決めて頂きたいと思います。

ちなみに本校での携帯電話使用のルールは、登校後電源を切り、放課後まで使用しない。放課後に緊急を有する場合は教室に限り許可しています。違反があった場合は担任が1日預かりますのでご承知おき下さい。

最後に、ご家庭にお願いがあります。生徒の車での送迎ですが、本校への坂は非常に狭く、車がすれ違っても大変です。駐車による渋滞が懸念されますし、住民の迷惑ともなります。送迎する場合は、秋葉公園駐車場か、線路脇の駐車場をお願いしたいと思います。

これからも、生徒が気持ちよく学校生活が送れるよう、また、生徒1人ひとりが進路実現に向け邁進できるように、生徒指導部では環境作りをしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

ひとりで悩まないで 新潟県のこころの相談ダイヤル 0570-783-025（24時間対応）

修学旅行に行ってきました

2 学年主任

増井 治

10月15日から18日まで、東京・関西へ修学旅行に行ってきました。台風19号が上陸し、実施が危ぶまれましたが、最終日の午前中を除いて、傘をさす必要も無く、幸いに天候に恵まれました。被災された方々には謹んでお悔やみ申し上げます。新潟駅9時4分発の上越新幹線に乗り、東京駅に10時43分に到着しました。

〈1日目 企業研修／大学体感 ー働くこととは／学ぶこととはー〉

最初の活動は、探求活動の一環としての企業研修です。普段学校で行っている探求活動に関連のある研修先を選んで、東京駅から山手線や地下鉄で、班ごとに分かれて向かいました。テレビ局や新聞社やメーカー、NGOなどの現場を訪れ、探求活動を行う中で出てきた疑問を解決することが目的です。また職員の方の仕事に対するやりがいや情熱、業界の裏話など、足を運ばなければ知ることのできなかつた話を聞かせていただきました。

夕方は東京大学で、現役東大生を招いて、大学体感プログラムを実施しました。東大生から自らの受験や大学での勉強、人生観などを熱く語ってもらいました。生徒達も普段とは違って、積極的に質問したり意見を述べたりする姿が見られました。

参加してくれた東大生に共通して言えることは、才能あふれるというのはもちろんですが、前向きで、努力家ということです。進路先を決めた理由が、誰かに言われたとか、安定しているからとかではなく、やりたいことだったからというのが印象的でした。それだからこそ頑張ったとも言っていました。生徒はもちろん教員も、大きな刺激を受けました。

その後すっかり暗くなったキャンパスで、安田講堂や三四郎池などの見学、学食で夕食を済ませ、1泊目の宿泊先である品川のホテルに着きました。

〈2日目 東京から京都へ移動 ーよきリフレッシュー〉

品川駅前にあるホテルから、乗り換えを急ぐ通勤客の列を縫って、時に舌打ちされながらも、必死の思いで新幹線改札口へ移動しました。ラッシュアワーのターミナル駅、新潟駅の混雑などかわいく思えるくらいで、とても貴重な経験になりました。

上洛する前に大阪、USJに寄り道しました。前日の東京での企業研修／大学体感で疲れた頭と体を癒やし、翌日の京都での歴史・文化研修に備えるための、よい心身のリフレッシュとなりました。

〈3日目 京都市内班別研修 ー京都の歴史と文化、産業を目と足、舌で実感ー〉

朝から班ごとに分かれて、京都市内の研修です。事前に学校で計画した研修地を、主に市バスを使って一日研修しました。

初めて訪れた見学地はもちろん、中学校の修学旅行で行った清水寺や金閣寺などの寺院を再度違う友達と訪れ、新たな感動や異なった趣を感じたりしました。昼食で食べたカタカナのメニューも、千年の都で食するとなぜか雅な味覚がしました。夕方の門限には一班も遅れることなく、無事に帰ってきました。生徒達の心がけももちろんですが、スマートホンの威力を再確認しました。東京に比べたら狭い京都ですが、さすがに一日中歩き回ると、いくら若いとはいえ足が棒のようになりました。おかげでその夜（最後の夜）は、早く寝付くことができました・・・？

〈4日目 延暦寺と教王護国寺訪問 ー最澄と空海に学ばー〉

最終日は期間中唯一の雨となり、比叡山は霧で煙っています。最澄が開いた延暦寺、バスで頂を目指して、比叡山ドライブウェイを登ります。琵琶湖の美しさに見とれているうちに、具合が悪くなった生徒もいました。延暦寺では、大講堂や阿弥陀堂、東塔を見学し、根本中堂で法話も聞きました。鎌倉仏教の開祖達もこの山を登り学んで降りたことを思うと、この山、この寺の歴史における存在の大きさに圧倒されました。

最後の見学地は、空海が嵯峨天皇から賜った教王護国寺、いわゆる東寺です。観光ポスターにもよくなる五重の塔を背景に、私達も集合写真を撮りました。卒業アルバムに掲載されるので、お楽しみに。国宝の金堂、重文の講堂も見学しました。楽しかった修学旅行もこれをもって終わり、何度も五重の塔を振り返りながら、京都駅に向かいました。

東海道、上越の二つの新幹線を乗り継ぎ、17時48分新潟駅に到着し、4日間の旅は終わりました。

生徒達にとって、良い思い出となったことでしょうか。また出かける前より少しだけ遅くなりました。保護者の皆様、準備や送迎などのご協力ありがとうございました。

探求活動の要素を取り入れた、新津高校にとって新しいスタイルの修学旅行、慣れないことで戸惑いもありましたが、旅行社はじめ研修先などの、多くの方々の協力で期待した以上の成果を上げることができました。現在は旅の思い出を胸に仕舞い、受験生としてのスタートを切りました。いつか違う季節に、新たな友と、再訪して欲しいと思います。

進路指導室より

進路指導部 齊藤 恭広

はやいもので、令和元年もあと僅かとなりました。3年生は12月の三者面談で、受験と入試のスケジュールの確認が終了し、1月センター試験本番に向けて毎日遅くまで演習に取り組んでいます。わずかな時間でも授業や講習でやった問題の類題が出題される事はよくあることです。やりっ放しにせずその日のうちに復習をしておきましょう。間違えた問題をしっかりと確認し確実に解けるようにしておくことが、必ずセンター試験本番の高得点に繋がります。入試直前で不安や心配を感じている人も多いと思いますが、「現役生は最後まで伸びる」、「練習での間違いが本番にいきる」を信じて、焦らず一つ一つ地道に取り組んで下さい。

さて、私立大学の出願・受験は既に始まっています。自分が受験する大学の「募集要項・募集案内」は取り寄せていると思いますが、すでに多くの大学がWEBでの出願となるので早めの準備をお願いします。WEB出願は、スマートフォンからも出願できますが印刷しなければならない書類もあるため、プリンタが必ず必要になります。進学後には必ずパソコンとプリンタは必要になるものなので、今のうちに用意することをおすすめします。また、学校で発行する「調査書」は、申請から発行まで数日かかることがあります。冬休み前に「発行願」を出せば、遅くとも1月の初めに渡すことができます。また、国公立大学（前期、中期、後期）の出願校決定はセンター試験後（出願期間は、前期・中期・後期とも1月27日～2月5日）ですが、判定を見てから出願メ切までの日数が少ないので、三者面談で候補にあげた大学4校から5校の募集要項を予め取り寄せておいてください。出願期間・試験日・発表日・手続締切日は大学（募集単位）ごとに異なります。必ず正式な要項等で確認し、ミスの無いようにお願いします。

2年生は、11月上旬に学年集会でベネッセから受験準備の始まる「3年0学期」の話をさせていただきました。進学希望者が本格的に受験勉強を始める時期を「3年0学期」と位置づけていますが、まだ受験に向かっていない人はすぐに始めて欲しいと思います。この時期の「受験勉強」とは、入試問題（難問）の挑戦ではなく授業で習った教科書レベルの問題を確実に解けるようにすることです。3年生になってから受験勉強を始めたのでは第一志望校の合格率は37%（ベネッセ調べ）、つまり10人のうち希望達成できるのは3人しかいないことになるのです。来年後悔しないためにも、この冬休みから計画的に学習を進め、1年、2年の基礎力の定着に努めましょう。

1年生は、高校生活にも慣れ、緩みがちになる時期です。10月のアンケートでは、全体的に家庭学習時間の差が開き、携帯電話使用時間の増加も見られます。毎日の家庭学習3時間をしっかり確保して、学習リズムを立て直しましょう。2年生から授業内容も難しくなり学習量も増えていきます。3学期に1年間の学習内容の復習をしっかりと、2年生の学習へつなげましょう。また、進路目標を具体化して、家庭で保護者の方としっかり意見を一致させてほしいと思います。

最後に、11月に来年度に予定されていた大学入試英語成績提供システムの中止が発表されました。これは、大学入試センターで英語外部検定試験の成績を一括管理して、その成績を各大学に提供するものですが、「大学入試に英語外部検定試験を利用しない」というものではありません。個々の大学は既に多くの大学・学部で外部検定を入試の成績として取り入れています。特に、推薦入試やAO入試で英語外部検定を出願資格などに利用されていることから、新津高校では今後も英語指導の強化に努めていきます。

編集
後記

2学期は各学年とも保護者向けの大学入試直前説明会、懇談会に多くの参加を頂きありがとうございました。

11月の文化講演会后、思い立って新津高校時代の同級生に聞いてみたところ、「1年は誰それで2年は、3年は、」と皆、鮮明に覚えていました。心身ともに成長期の生徒にとって、今年度も大変良い刺激になったと思います。井上さん、ありがとうございました。

再来年の令和3年は「新津高校100周年記念」の年です。母校が一層発展するよう卒業生の一人として日々努力したいと思います。